



墨田区総合防災訓練に参加

(3面から続く)

「取付事業」「無料耐震相談員派遣事業」「耐震改修事業」の受託契約を結び、登録した多くの組合員に仕事の発注をしてきました。この事業に参加している組合員からは、「仕事が少なくなっているとき、少しでも手間に」なるなどの声も上がっています。組合員の技術・技能を發揮したこの事業の取り組みは、自治体や区民からの信頼を得ると共に、組合員の仕事にもつながっています。また、公共工事の入札参加、随契約工事なども行ってきました。東京土建の運動から発展してきたこれらの事業は、地域住民の住宅要求にこたえ、組合員の仕事確保につながります。組合員の仕事確保につながる取り組みとして行われました。

③防災まちづくりと区内建設団体・自治体との連携

墨田区と防災協定を締結して三年が経ちました。昨年は墨田区総合防災訓練、防災フェアに参加しました。防災訓練、住宅まつりでの救出救助訓練では消防署の協力も得て、倒壊家屋からの救援活動を実施しながら行ってきました。また、墨田区防災課と今後の防災活動、救援活動について懇談し協力関係の確立をしています。

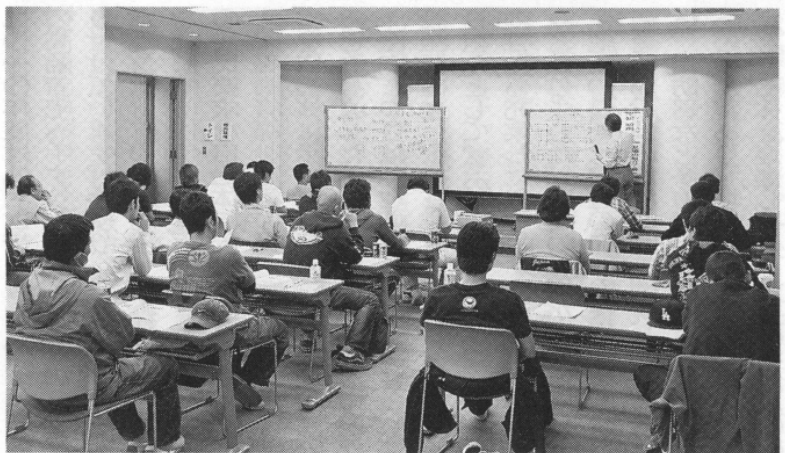
④賃金運動

一昨年、千葉県野田市で全国初の公契約条例が制定され、全国の自治体で公契約条例制定の動きが始まっています。墨田支部では東建と共に、区長懇談、区議会議員懇談、区議会各会派への呼びかけ、対区交渉のなかでも墨田区での実現を訴えてきました。区長は「検討している他の自治体からも情報を得て、今後も懇談していきたい」と区議会議員は「議会でも前向きに検討する」契約課長は「資料で内容を勉強している。墨田区にあった内容になるか検討する」と、それぞれ前向きに考えています。

賃金運動では、春・夏の区内現場訪問行動を取り組み、現場改善や就労実態、建退共の普及などについての申し入れを行いました。また、組合員からの賃金アンケートで活動は、区内建設団体が一堂に会して活動しています。東京土建が目指す地域に根ざす運動を他団体と連携した取り組みとなり、区民や自治体からも信頼された活動となっています。墨田区からは、新たな助成制度に向けて支部との意見交換も行われ、実際の工事からの問題点などを提案し、四月から始まる新制度に反映されています。

⑤労働・技術対策

労働対策では、土建国保レセプト点検から、じん肺・アスベスト肺の掘り起こしを行い、労災認定者の掘り起こしを行ってました。アスベスト訴訟は、全国的な支援体制も整い、来年の結審に向けて最終局面を迎えています。また、現場での労災事故撲滅の運動は、現場訪問行動などで訴えてきました。例年行っている墨田低建協の安全パトロールは、監督署担当者の異動で中止となっています。組合員の労災に対する認識を高めると共に労災保険加入を勧めて



足場組み立て作業主任者講習

(4)協同組合事業の到達

協同組合は墨田支部の方針に基づき支部の運動と二体化して進めなければならない。事業は、共同計算事業、共同受注事業、労働保険事業を柱に運営しています。共同受注事業は、墨田支部の受注事業の運動方針を基に、区民の住宅要求に応える事業として、組合員の職域確保を求めながら運営を続けています。

(5)組織建設の取り組み

①組織拡大の取り組み

二〇一〇年の組織拡大は、三年連続の組織減少となりました。建設不況から仲間の仕事が激減、事業所の倒産など厳しい状況から組合を去っていく仲間が後を絶たない状況です。

②支部・分会組織確立に向けた取り組み

二〇〇九年より、組織再編について本格的に議論が始まり、二〇一〇年三月には、八広第一分会と八広第二分会が八広分会に、京島分会と東向島分会がひびろ分会に、それぞれ合併し、四分会が二分会に再編されました。昨年の第五回支部定期大会でも、引き続き組織再編を継続していく事が確認され、現在も進め



アスベスト訴訟駅頭宣伝